

議員提出第5号

米軍オスプレイの墜落に関する意見書

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第13条の規定により提出する。

令和5年(2023年)12月4日 提出

提出者 狛江市議会議員 岡村 しん
小 木 哲 朗
ひらい 里 美
高 木 さとこ
荒 木 て つ
宮 坂 良 子
西 村 あつ子

狛江市議会議長

谷田部 一 之 様

(提出理由)

米軍オスプレイの墜落に関する意見書

11月29日、米軍横田基地所属のCV-22 オスプレイが鹿児島県屋久島沖に墜落し、乗組員8名が亡くなった。赤い炎と白煙を上げ、回転しながら落ちていくのを目撃したとの住民の証言が報じられている。

垂直着陸輸送機オスプレイは、開発段階から墜落事故を繰り返してきた危険極まりない欠陥機である。日本国内への配備後も、墜落と不時着などのトラブルを繰り返してきた。

日本政府は30日午前8時、在日米軍司令部のラップ司令官に飛行停止要請を出しているが、米国防総省のシン副報道官は「日本政府から公式の飛行停止要請は受けていない」と明言している。墜落事故翌日の30日も少なくとも沖縄、神奈川、静岡各県内で飛行を強行しており、再度の飛行停止要請を早急に行う必要がある。

(その後、米軍機は12月7日「調査が継続している中、リスクを軽減するため、米軍CV-22 オスプレイの運用停止を指示した、旨発表しました。」)

国民の不安と反対の声を押し切り、米軍基地への配備を容認し、さらに自衛隊への導入を進めてきた日本政府の責任は極めて重大である。

よって狛江市議会は以下について政府等に対し、強く求めるものである。

記

- 1 事故の原因究明を米軍へ求めること
 - 2 日本国内に配備されているオスプレイを全面撤去し、追加配備計画を中止すること
 - 3 オスプレイの自衛隊への導入を中止すること
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年(2023年)12月22日

東京都狛江市議会

令和5年12月22日原案否決

内閣総理大臣
外務大臣
防衛大臣 様
衆議院議長
参議院議長